

[魅力ある漁業を守る]

クロマグロ漁業者の経営安定について

Q 国際的な資源管理により漁獲枠が決められて以降、地元の漁師さんからは沿岸漁業ではいくら共済に加入しても、生活が成り立たない。これからの若い人にとってマグロ漁師は魅力がない、という声があります。クロマグロ漁業者の経営安定に向けた県の取組について伺います。



日本一大間まぐろ

A 資源管理実施後において資源回復の兆しが見られており、国際会合で漁獲枠について増枠が合意されたことを受け、基本枠約10%の増や追加配分を含め本県の漁獲枠が増える見込みです。さらに、クロマグロの漁期以外での収入を増加させるため、ヒラメやアイナメなどの稚苗放流やウニなどの磯根資源の増大に向けて、漁協等の取組を支援しており、今後もクロマグロ漁業者の経営安定に取り組んでいきます。【農林水産部長答弁】

[子育て世帯の経済的負担軽減へ]

子どもを育てやすい環境の充実について

Q 本県の人口減少対策として、0歳から2歳までの保育料についても無償化すべきと考えますが、県の見解を伺います。

A 国の幼児教育・保育の無償化については、3歳から5歳までのすべての子どもと0歳から2歳のまでの住民税非課税世帯の子どもの保育料が無償化されました。県としても、国の責任において、幼児教育・保育の完全無償化を早期に実現するよう、全国知事会等を通じて国に要望しています。【健康福祉部長答弁】

Q 県内の主要都市から遠く、公共交通機関も乏しい地域は、これまでも統廃合によって高校がなくなっています。通学や下宿・寮にかかった費用の一部を奨学金返還から免除する「高等学校奨学金通学費等返還免除制度」が創設されましたが、通学費等を直接支援する仕組みを検討すべきと考えます。県の見解を伺います。

A 県教育委員会としては、経済的な理由により就学が困難となる生徒への支援が必要であると考え、引き続き、県育英奨学会と連携して制度の周知に努め、高校生等の通学費等の負担軽減を図っていきます。【県教育長答弁】

※再質問で事例を紹介し、制度の変更を訴えました。詳細は登壇動画をご覧ください。

[いのちを守り、医療を守る]

下北地域の医療提供体制の充実について

Q むつ総合病院は建築後40年が経過し、老朽化が進んでいる入院病棟については、耐震性を備えた新たな病棟の建築に向け、現在、準備を進めています。下北地域の医療提供体制の充実・強化のため、むつ総合病院の新病棟建設に対する支援が必要と考えますが、県の見解を伺います。



A 県では、地域医療構想に基づく医療機関の整備等の取組に対して、地域医療介護総合確保基金を活用した支援を行っています。むつ総合病院の新病棟整備に対する支援について、今後、地域医療構想調整会議や医療審議会の意見も踏まえた検討が必要と考えています。【健康福祉部長答弁】

青森県議会議員として、むつ市・大間町・東通村・風間浦村・佐井村、そして青森県の課題に取り組んでまいります！

令和4年6月
第310回定例会

山本ともや
登壇動画はこちら！→



これまでの山本ともやの
「青森県議会での質問」発言記録はこちら！→



■県民の皆さまへのお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止

県民の皆さまへのお願い

引き続き、基本的な感染防止対策の徹底!
一人一人の積み重ねが大きな力!



山本ともやの想い



地域の仲間と、宮下むつ市長・太田佐井村長とともに、子どもたちの陸上教室の機会創出。

「想いをつなぐ」をモットーに、地域の課題を、現状を、想いを、県政の壇上で訴えて参ります。訴えるだけではなく、課題を解決し、地域の想いを実現するべく、日々の街頭活動で養ったあきらめない志を貫いていきます。3人のこどもを持つ親として、子どもたちの笑顔とみどりを創る活動を推進しています。

皆様のご意見、
ご要望を山本ともやまで
お寄せください

青森県議会議員 山本ともや事務所

〒035-0041 青森県むつ市金曲一丁目7番10号 TEL: 0175-33-2058 FAX: 0175-33-2068
E-mail: yamamototomoyajimusyo@gmail.com URL: https://www.yamamototomoya.net

Facebookで
日々の活動を公開
<https://www.facebook.com/aomori.yamatomo>

